

# 京都式営農一体型の野生鳥獣対策について

【関係省庁】農林水産省 環境省

地球温暖化による分布域の拡大、耕作放棄地・放置森林の増加、狩猟者の減少等に起因する野生鳥獣による農産物への被害拡大は、経済的な損失にとどまらず、**農家の生産意欲を減退させ、集落の維持にも影響する深刻な問題**となっております。

つきましては、**野生鳥獣被害を減少させ、地域が安心して生活できる環境を確保**するため、京都府の先進的な取組に対し、予算を重点配分いただきますよう要望します。

## <農林水産省の概算要求>

### ■鳥獣被害緊急総合対策（鳥獣被害緊急対策事業を含む） 113 億円

中山間地域等での不作付けの解消など戦略作物の生産拡大、畜産農家の安定的な経営継続のため、侵入防止柵の整備等の鳥獣被害対策を緊急的に強化



## <京都府からの要望>

京都府では、鳥獣被害防止のため、**市町村と連携し、府県域を超えた、捕獲効率の高い広域有害鳥獣捕獲や営農的手法と侵入防止柵設置を一体的に行い防除力を高める京都式営農一体型防除対策を実施**することとしており、こうした取組を進めるため「**鳥獣被害緊急対策事業**」を**重点的に配分**してください。

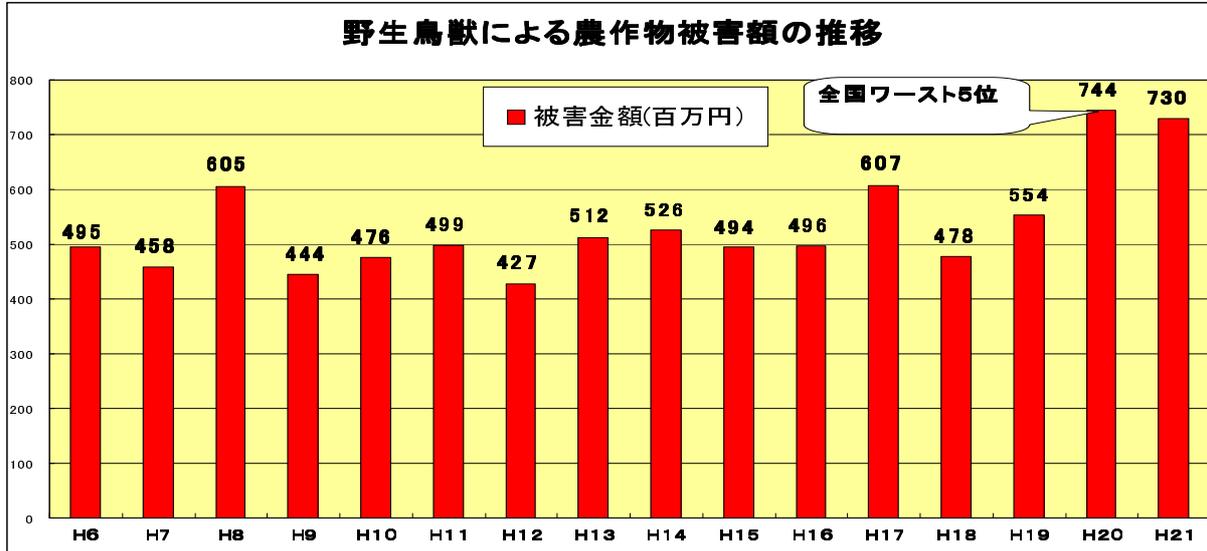
## <京都府の具体的な取組>

- ・府県及び市町村境界付近の被害が増加している状況で、個体数を減少させるため、府県及び市町村域を越えた**シカの広域捕獲を、兵庫県や関係市町、猟友会と合同して実施**します
- ・狩猟者が減少しているため、狩猟免許取得の勧誘活動や、市町村の猟銃購入を支援するなど、**有害鳥獣捕獲の担い手を確保**します
- ・侵入防止柵の防除力を向上させるため、有害鳥獣が持つ習性や本能に基づき、嗜好性の低い作物や目隠し作物を防止柵周辺に植え付ける、京都式の広域防止柵の整備など、**営農と一体的に行う防除対策を実施**します

京都府の現状・課題等

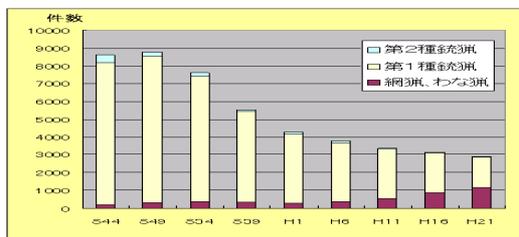
○野生鳥獣による農作物被害の状況

平成 6 年から平成 19 年までは 5 億円前後で推移していたが、平成 20 年度から 2 年続けて、7 億円以上の高止まりとなり、減少傾向が見えず、まさに緊急事態。

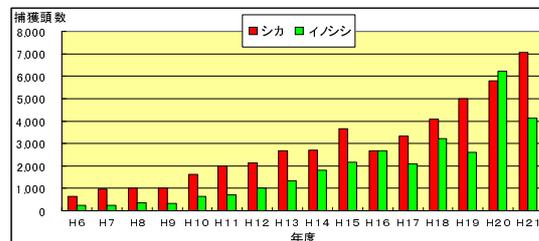


○有害鳥獣の捕獲

狩猟者が減少する中、有害捕獲数は増加していることから、捕獲班員一人あたりの出動日数は年々増えており、安全捕獲のためにも捕獲の担い手の確保は急務。



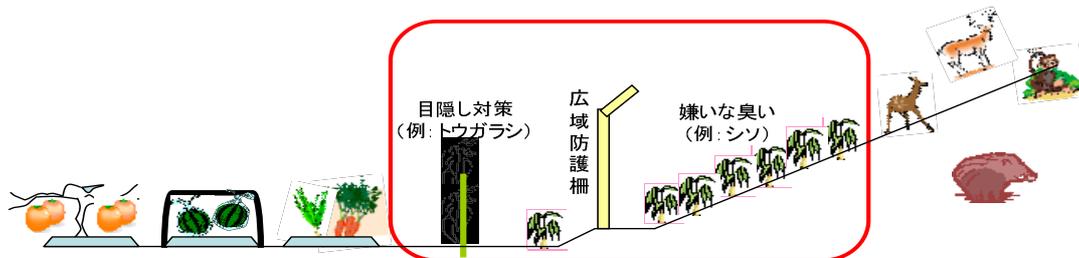
狩猟者登録数の推移



主要獣類有害捕獲数

○京都府独自の営農一体型広域防除対策

嗜好性の低い作物や目隠しになる作物などの営農的手法と、集落農地を囲む恒久防護柵との合わせ技により、大きな防除効果を期待。



【京都府の担当部局】

農林水産部 森林保全課 075-414-5023